

病床機能別の集計結果の概要

(単位:床)

構想区域	医療機能	平成26年 (2014年) (7月1日現在)	平成27年 (2015年) (7月1日現在)	平成28年 (2016年) (7月1日現在)	平成29年 (2017年) (7月1日現在)	[参考]	[参考]	[参考]	[参考]
		病床機能報告 (稼働病床数) A	病床機能報告 (稼働病床数) B	病床機能報告 (稼働病床数) C	病床機能報告 (稼働病床数) D	増減 B - A	増減 C - A	増減 D - A	平成37年 (2025年) 地域医療構想 における 必要病床数 E
中北	高度急性期	1,167	1,167	1,173	1,171	0	6	4	403
	急性期	1,962	1,850	1,752	1,773	112	210	189	1,353
	回復期	263	326	398	443	63	135	180	1,227
	慢性期	1,486	1,457	1,508	1,460	29	22	26	1,161
	計	4,878	4,800	4,831	4,847	78	47	31	4,144
峡東	高度急性期	0	0	0	0	0	0	0	48
	急性期	776	730	757	756	46	19	20	279
	回復期	639	774	672	639	135	33	0	978
	慢性期	587	451	489	521	136	98	66	419
	計	2,002	1,955	1,918	1,916	47	84	86	1,724
峡南	高度急性期	0	0	0	0	0	0	0	0
	急性期	310	306	299	307	4	11	3	78
	回復期	26	0	0	0	26	26	26	102
	慢性期	124	162	147	149	38	23	25	83
	計	460	468	446	456	8	14	4	263
富士 ・ 東部	高度急性期	11	15	15	17	2	2	6	84
	急性期	866	800	758	757	1	43	109	318
	回復期	0	99	99	174	75	75	174	259
	慢性期	151	135	135	132	3	3	19	117
	計	1,028	1,049	1,007	1,080	73	31	52	778
総計	高度急性期	1,178	1,182	1,188	1,188	2	8	10	535
	急性期	3,914	3,686	3,566	3,593	163	283	321	2,028
	回復期	928	1,199	1,169	1,256	247	217	328	2,566
	慢性期	2,348	2,205	2,279	2,262	130	56	86	1,780
	計	8,368	8,272	8,202	8,299	44	114	69	6,909

> 医療機能を未選択の病床は含まず。

時点の異なる病床機能報告の数値については、以下の点から、単純に比較すべき性質のものではないと考えられるため、「増減」は「参考」扱いとする。

- ・ 医療機能の区分の基準は定性的なものであり、あくまでも医療機関の自主的な判断によるものであること。